

2回戦
11年春季リーグ
第6週・5月13日
1勝1敗

駒大0-1 国学院大

主将
が失策し、
エースが打たれ

駒大	000	000	000	0
国学院大	000	000	001	x 1

[駒大]	打安点
④小林	400
⑧嘉数駿	400
⑥岡	300
⑤白崎浩	310
⑦竹野	000
7柴田	310
⑨友滝	200
DH江越	300
②戸柱	300
③増本	200
PH福山	100
3松尾	000
計	2820

	回	打安責
井口	6 1/3	2220
●白崎勇	2	910

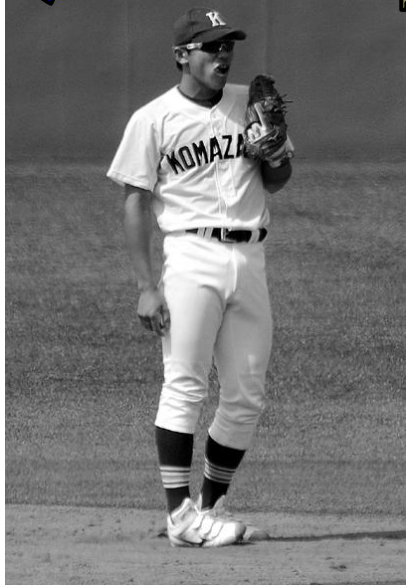


9回、失策で出した走者に盗塁を許し、悔しがる岡



8回2死二塁の好機で凡退した江越。打線は2安打に抑えられ、投手陣を援護できなかった。

9回に失策し、唾然とする岡



サヨナラ打を浴び呆然とする白崎勇

まさかのサヨナラ負け…

スコアボードには0が並び、試合は延長戦にもつれ込むかと思われた。しかし9回裏、岡将吾(法4)が失策で出した走者に盗塁を許し1死二塁。7回から救援した白崎勇(管4)が続く打者に右越二塁打を浴び、サヨナラ。国学院大戦の勝ち点は来週以降にお預けとなった。



捕手・戸柱の背後で喜ぶ国学院大のベンチ

痛恨のサヨナラ負けだった。「キャプテンがエラーしてエースが打たれる。昨年の王者の意地を見せられたかな」。小椋正博監督が口にした一言が、この日の全てだった。

先発の井口拓皓(経3)は「調子自体は良かった」と上々の立ち上がり。両者無得点のまま回を重ね、試合は縮まった投手戦に突入した。

7回、それまで相手打線を無安打で抑えていた井口が2安打を許し1死一、三塁としたところでエースを投入。「準備はしていた」と後続を打ち取り、難なく危機を切り抜けた。

守備に定評がある主将の岡が今季4つめの失策を記録。さらに盗塁で進塁され、迎えた相手の4番打者に「ちよっと高かった」外野のストリート外を痛打。サヨナラ負けを喫した。

試験後「申し訳ない。(投手陣は)いいピッチングだった。エラーと打撃陣のせい」と岡が言えば「(失策は)仕方ない。岡は岡で頑張ってくれているから」と白崎勇。指揮官も「岡や白崎勇で勝った試合も多々ある」とかばった。



7回途中まで無安打に抑えるなど、好投を見せた井口

写真＝田上 慧
橋本圭史
山田遼太郎
文＝水出綾香